

# 白蘭

令和2年7月6日 7月号① No7



ホームページは、「白蘭小学校」で検索するとすぐ見つかります。

## 【学校教育目標】

- ・深く学ぶ子
- ・心豊かな子
- ・健康な子
- ・未来をつくる子

## 七夕について

明日は、日本の伝統文化の一つ、七夕です。子ども達が、楽しみにしている近所の家を回るという北海道特有の風習も今年の場合は、コロナの感染防止の観点からあまりお勧めできませんが、お子様とよくお話され判断をお願いします。

学校としては、子ども達に、校外生活のきまりとして、訪問の際の基本的なマナーや門限を守ること、交通事故にあわないよう自転車で回らないなど指導しています。ご家庭での活動になりますので、保護者からの十分な声掛けをお願いいたします。



## 規範意識を育てる

この社会には、守らなければならないルールがたくさんあります。そのルールは、人の自由を奪うものではなく、守ることで、集団社会における様々な弊害を回避するものです。学校において規範意識を育てることは、単に子どもをルールづけにして管理を強めるということではなく、子どもが集団における自分の立ち位置を確認し、自分自身どうあるべきかを学ぶという意味をもちます。つまり、社会性を身につけるということです。学校教育は、学校、学年、学級といういくつかの集団で行われます。その集団にうまく適応できる力を身につけさせなければなりません。自己を律しルールを守ることによって集団の秩序が保たれたとき、子どもにとって安心した学習環境が整います。そこには助け合い、教え合い、学び合いが成立し、集団で学習することのよさや効果を子ども達自身が実感することになります。

コロナ感染防止のため、臨時休業を余儀なくされていた時期は、このような学校でしか経験できない集団がもたらす学びが空白となってしまいました。でも、学校が再開して1か月、本校の子ども達は、これまでに培ってきた大切な集団での学びを忘れていませんでした。友達に対する励ましの声や低学年を思いやる声掛けなど、一人一人が学校をより安心できる場、楽しい時間になるよう、互いにルールを守ることを意識しながら頑張っています。

これからも相手の立場を考え、集団の規則を尊重し順守すること、自分の利益だけでなく相手の立場や思いに気を配れる子どもを育てていきます。

## 税を知る 6年生



室蘭税務署の方を講師としてお招きした「租税教室」が先日行われました。

「税金がなかったらどうなる？」というDVDを見ながら税金のしくみや使い方について学習しました。

最も身近な消費税のほかにもたくさんの種類の税があることや他国の税金の使い方などの違いなどにも興味をもって

真剣にメモをとりながら学習していました。

授業終了後、本物と同じ重さの見本の1億円の札束をもたせていただきました。本物の1億円を持ち上げることは、この先もほとんどないでしょう。とても貴重な体験をさせていただきました。ずっしりと重い1億円を将来稼ぐ人になりたいと野望を抱いた子もいたかもしれません。



# 優しさの行動



6月後半は、雨が多く室蘭らしい天気でしたが、朝から雨の降るある日、とても心温まる優しい行動が見られました。

危険防止のため傘を持って登校できない1年生と2年生は、雨合羽で登校です。当然服はぬれませんが、カッパはびしょぬれです。そこで登場したのが6年生。1,2年生のぬれたカッパをタオルで優しく、ていねいに拭いてくれました。じっと拭き終わるのを待つ低学年。拭き終わるときちゃんと「ありがとう」と伝えていました。

「カッパを脱ぐときに濡れる  
といやだろな」

「廊下が雨で濡れて、誰かが滑って転ぶかもしれない」など、相手の立場になって考え、次に起きるかもしれない事態を想像し、そのためにできることを考え行動に移せること。そして、感謝されることに喜びを感じる。様々な教育活動や経験を通して、培っていききたいものです。



## 小さな訪問者



「校長先生、壁にクワガタがいる」

朝の登校時、ある子が玄関の壁の上の方に立派に成長したミヤマクワガタがいるのを発見。手の届く場所ではなかったのですが、長い棒でつついて落とし、ゲット。「クワガタかっこいい」の声があちこちから。自然豊富な本校ならではの小さな訪問者でした。子ども達は虫が大好きですね。

## 北海道共同募金運動優秀校受賞

本室蘭小学校が長年取り組んできた赤い羽根共同募金の取組を白蘭小学校の児童会が引き継ぎ、開校から行ってきました。そして、この度、その努力と長年の功績が認められ、共同募金会から優秀団体として感謝状をいただきました。



室蘭市社会福祉協議会の米野事務局長さんから、昨年も児童会でこの活動にかかわった6年生の●●さんと〇〇さんの二人が代表で受け取りました。室蘭民報の取材インタビューもあり、●●さんは、昨年クラスメートや多くの学年、先生方も協力してくれたことへの感謝、〇〇さんは、今年もやりたいという声が児童会で出ているので実施したいというお話をしていました。福祉に関心を持ち、自分たちができることの一つとして、本校の伝統的な活動になりそうです。

## 「想合」の時間

「総合的な学習の時間」の名前が「想合」に決まりました。



先輩の意思を受け継いで活動してきた6年生が投票の結果と話し合いによって決めました。今後は、時間割などにこの名前が使われることになりました。

「自分たちの想像力を合わせて新しい何かをつくる時間にしよう」という思いが込められています。